

報 廣 あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 No.151号

町の人口

(49年12月末日現在)

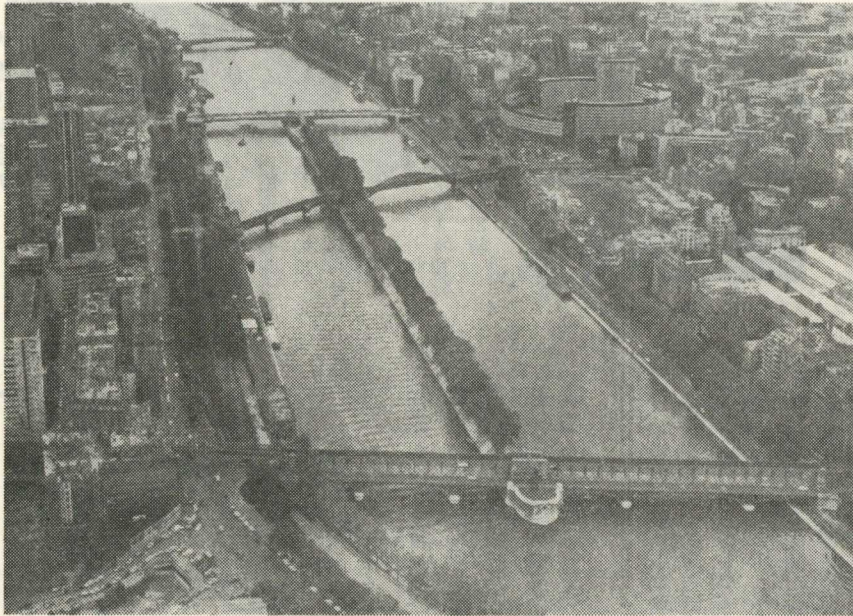
男	4,311人
女	4,801人
総人口	9,112人
世帯数	2,789世帯

渡欧を終えて 〈三回〉

赤池町長 池 永 輝 昭

十月十日午前九時金田氏の友人藤本君が今日の案内通訳としてホテルに我々を迎えにくる。大使館が紹介してくれたエウル（E.U.R）の国立美術専門学校を訪れ二

イノ・カルーゾ教授に面会を求め、受付の紳士は我々を授業中の教授の所へ直接案内してくれる。二十人程の学生を前にスライド写真をスクリーンに写して熱心に



セーヌ川河畔 (パリーにて)

とじて保存して下さい

授業中である。一方、十五、六才位の生徒達はたばこをくわえている者も居れば男子生徒の膝に抱かれています。女生徒も何人か居る。日本の教育ママさん達が見たら気絶でもしかなない光景である。

教授は説明を助手にまかせて我々を別室に案内し来訪の主旨は既に大使館よりきいているとて、手作りタイルの型ぬきから焼成に至るまでを図に書いて懇切に説明して下さる。勿論私には技術的なことは判らないが、不明な点については青柳君が種々質問をしていたので充分理解出来たものと思う。

授業を終った生徒達が、もの珍らしげに我々の周囲に集まり賑やかなる。イタリヤタイルの特徴や生産地として有名メーカー等を教えて下さる。手作りのタイルは主として南部のナポリを中心に今日尚盛んでオートメーションによる大量生産はポローニアやフエンツアを中心にレデオ、モデナ、サスオロ等中部地方で盛んでタイルや焼物の七〇%から八〇%を産しているとのこと。

イタリヤタイルの焼成は素地焼約千五十度から千百度釉薬焼成温度が千度以下であるとのこと。上野焼のように千三百度の高温焼成では寸法、形等に若干のひずみが出てくるとのこと。又、原料粘土の水分も五%から五十%と種々あること等々、これからは今後老人生きがい対策の作業の中で大いに研究を重ねていきたいと思う。長居は授業に迷惑と思ひ厚く感謝の

意をのべて部屋を出る。

校門附近で二、三人の学生を呼びとめ修業年数や授業料を聞いてみる。八年間の義務教育を了えた者であれば誰れでも自由に入学でき、四年間勉強出来るとのこと、希望者は更に二年間専門課程に進むことができ、すべて学費は国の負担で無料とのこと、この国が芸術にかける並々ならぬ意欲がうかがわれる。

ローマ市内で昼食をとり、とある一軒のタイル販売店をのぞいてみる。大きなガラス窓がとってあって、明るくて見せるべき品物だけが数少なく飾られ、そのイメージはセメントやブロックなどの建築材を売る姿勢では勿論なく、照明器具や家具を見せるのと全く同じ感覚で展示され、一見美術品を売っている画廊のようである。顧客のデザイン的な要望に対し充分に応じられるよう、こころ惜い程の配慮がなされている。

一九七〇年EXPOのイタリヤ館のレストランの床に使われたイタリヤタイルの美しさに多くの人が目を見はったように恐らく青柳君もイタリヤタイルの虜になったのではないだろうか。

案内の藤本君までがしばしば感嘆の声をもらす。いつまでもつきぬ気持を残して店を出る。ホテルに帰り明日の日程について検討する。南部のナポリに行くか北部のポローニアに行くかずい分と迷っ